



図書館だより 5月

新学期が始まって1か月が過ぎようとしています。新しい環境には慣れましたか？まだ慣れないという人も、焦らず少しずつ、自分のペースをつかんでください。この新鮮な気持ちをいつまでも忘れないようにすることも、大切です。美しい新緑のように、みなさんがこれから成長していくことを願っています！



みんなで読もう！

朝読書



朝の8：20～8：30は、朝読書の時間です。わずか10分ですが、静かに本を開いて心を落ち着かせましょう。いい本との出会い、いい一日の始まり、心豊かな時間をみんなで共有しましょう。感動した本は友だちにもぜひ紹介してあげてください。

図書室には朝の読書向きのアンソロジー短編集もたくさんあります。気に入った作家がいれば、またその人の本を探して読んでみてほしいですね。

- 『こんがり、パン』『こぼこぼ、珈琲』（河出書房新社）
- 『誰にも言えない〇〇の物語』（宝島社）『大どんでん返し』（小学館）
- 『小説の惑星 オーシャンラズベリー篇』
- 『小説の惑星 ノーザンブルーベリー篇』（筑摩書房）
- 『僕たちの月曜日』（KADOKAWA）
- 『5分後に意外な結末シリーズ』（講談社） 『短編シリーズ』（集英社）

★他にも多数！図書室特設コーナーに置いています。ぜひ手に取ってごらんください！



第70回青少年読書感想文全国コンクール

課題図書 決定！



読書感想文といえば、夏休みの課題の定番です。何を読んで書こうかと毎年悩む人も多いと思います。今年度の課題図書が先日発表されました。図書室にも6月初旬には入りますので、ぜひご利用ください。

「宙(そら)わたる教室」 著：伊与原 新

物語の舞台は東京都立高校の定時制。読み書きに難がある20代の岳人、フィリピン料理店を営む40代のアンジェラ、ストレス障害から保健室で過ごす10代の佳純、集団就職で上京し苦労を重ねた70代の長嶺。それぞれの事情を抱えた生徒たちが、理科教師の藤竹に導かれ、科学部を結成。「火星の夕焼けは青いんですよ。」そんな藤竹の言葉に触発されて「火星のクレーター」再現の実験に挑んでいく…学ぶこと、好きなものに夢中になれること、生きるために忘れてはならないことを思い出させてくれる小説です。

『優等生サバイバル ～青春を生き抜く13の法則～』

著：ファン・ヨン三

テスト、課題、進路、そして恋……。1日は24時間しかない。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！！悩み多きハードな高校生活の中、優等生の主人公ジュノは、将来の準備期間だけではない「今を生きる」法則を見つけていきます。

「私の職場はサバンナです！」 著：太田ゆか

大好きな動物たちを守りたい……。南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝えたい知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なことが生き生きと描かれています。

図書委員会より

4月の図書室の本の貸出冊数は1年生33冊、2年生29冊、3年生12冊、計74冊でした。まだ図書室の本を借りたことがない人も、ぜひ一度来てみてください！